

## 医学医療における大局観「サンプル答案」

### 【Aさんの答案】

医学医療における大局観は必要であると考え。なぜなら医療は患者の体質や性格、病気の進行具合から総合的に判断し、より良い状態を目指して行うものであるからである。

例えば、熱が出たから解熱剤を、腹部が痛むから胃腸薬をというように局所的な判断で診察している、その影に潜む大きな病を見逃してしまうかもしれない。また他人の命、人生と向き合う医療が、合理的だからといって淡々と結論を出してはならないと思う。

近年、急性疾患から慢性疾患へと移行しつつある中でますます患者と触れ合い、向き合う時間が増えている。それは患者の人生観や価値観を良く知るための時間であると思う。その中で患者が自分の病気の事をどう思っているのか、積極的に治療したいのか否かという意見を聞き、自分の経験や知識、人生観や価値観を総合的に考えて最善の医療を行うというのが理想である。これは本文にある通り、一見役に立ちそうもない事、つまり教養や情緒を出発点とし、論理や可能性を検証するという行為そのものであると考える。

### 【Bさんの答案】

医学医療において大局観は必要ないと思う。

論理は必ず仮説から始まり、どの仮説を選ぶかが決定的で、この選択に教養や情緒が必要であると、この文では述べられている。人は1人1人考え方が違う。論理のみではたった1つの考えにたどりつくにもかかわらず、多くの考えがあがってしまうのはそれぞれ物事を見る視点が違うからである。視点によっては利点欠点がでてきてしまうだろう。しかし、あらゆる視点から考え、比べることによって、一番なにを重視しなければいけないのかが見えると思う。

医療の現場にも同じことが言える。医師の役目は患者の病気を治すことである。しかしただ治療するだけでよいのだろうか。患者の中には腕がよく、治療が早い医師がよいと思う人もいる。はたまた優しく誠意をもって治療する医師がよいと思う人もいるだろう。視点によって患者が医師に求めるものも違ってくる。論理的に考え、ただ治療するだけになってしまうと患者本人の気持ちが見えず、根本的な原因が見えないこともあると思う。

情緒等を仮説に立てることによって様々な結論がでる。1人1人の仮説に耳を傾けることによって、患者1人1人と正面から向きあえるのではないかと考える。